



慶應義塾大学ビジネス・スクール

吉野家とゼンショー

5

次ページ以降に掲げる2期分（2004年決算と2010年決算）の連結財務諸表と7期分の要約連結損益計算書および要約連結キャッシュ・フロー計算書（2004年決算～2010年決算）は、日本の飲食業を代表する牛丼チェーン2社のものである。株式会社吉野家ホールディングスは、「吉野家」、「はなまる」、「京樽」などをグループ会社として抱え、株式会社ゼンショーは、「すき家」、

10

「なか卯」、「ココス」などを経営している。

それぞれの企業の理念について以下に掲げている。現実の世界で見かける各企業の製品やサービス、新聞・雑誌・書籍などによって得られた情報、経営学の学習によって身につけた分析やフレームワークをすべて使いながら、これらの財務諸表から何が読み取れるのか考えなさい。

15

◆ (株)ゼンショーの企業理念（ゼンショー・ウェブサイトより）

“世界から飢餓と貧困を撲滅するため、「フード業世界一」を目指します。”

私たちの使命

20

- 世界中の人々に安全でおいしい食を手軽な価格で提供する。
- そのために、消費者の立場に立ち、安全性と品質にすべての責任を負い、食に関わる全プロセスを自ら企画・設計し、全地球規模の卓越したマス・マーチャンダイジング・システムをつくり運営する。

世界には、すべての人が食べることができる十分な食料があるにもかかわらず、過剰な

25

国と不足している国とのアンバランスに問題があると言われています。

ゼンショーグループは、世界の食事情を変えることのできるシステムと資本力を持った「フード業世界一」企業となり、世界から飢餓と貧困を撲滅することを目指します。

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎がクラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 村上裕太郎（2010年8月作成、2011年8月改訂）